



平成29年11月30日

各位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新
(コード番号)	5852)
問合せ先責任者	経営企画部長 成家 秀樹
(TEL)	03-6369-8664)

(訂正) 「平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年2月10日付で公表しました「平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容につきましては、本日付で公表しました「第97期 第2四半期報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」、理由につきましては、平成29年11月13日付で公表しました「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明のお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所は、四半期連結財務諸表中の法人税等調整額の訂正とそれに伴う繰延税金資産又は繰延税金負債の訂正であり、付随する各項目であります。

訂正の箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を添付しております。

以 上

(訂正後)



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石丸 博 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	100,448	10.0	833	△64.8	311	△86.3	△66	—
26年3月期第3四半期	91,348	16.3	2,368	804.3	2,266	—	3,601	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,223百万円 (△59.8%) 26年3月期第3四半期 8,027百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△2.59	—
26年3月期第3四半期	166.97	166.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	142,658	57,070	39.9
26年3月期	136,816	54,175	39.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 56,959百万円 26年3月期 54,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	6.00	14.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注) 平成26年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,900	7.2	1,800	△59.5	700	△82.6	400	△93.2	15.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	26,027,720株	26年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	203,561株	26年3月期	203,106株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	25,824,448株	26年3月期3Q	21,571,892株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げ以降、個人消費や生産活動の弱さが続いているものの、全体としては緩やかな回復基調が続いています。海外においては、アメリカでは景気は回復しており、アジアでは中国の景気拡大テンポが緩やかなものの、インドの景気は持ち直しの動きが見られるなど、世界の景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しています。

このような環境のなかで、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高100,448百万円(前年同四半期比10.0%増)、営業利益833百万円(前年同四半期比64.8%減)、経常利益311百万円(前年同四半期比86.3%減)、四半期純損失66百万円(前年同四半期は四半期純利益3,601百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、消費税率引上げの影響による国内販売の減速が続いているものの、円安を背景に北米市場向けを中心とした生産及び輸出が好調を維持しています。当社においてもこれらの影響を受け、受注量はほぼ前年同四半期と同水準であるものの主に地金市況の高騰影響等により、売上高は46,473百万円(前年同四半期比1.2%増)となりました。収益面においては、減価償却費の増加及び賃上げに伴う労務費の増加等により、セグメント利益は2,041百万円(前年同四半期比20.5%減)となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米では、アメリカでの好調な自動車販売の影響を受けた受注の増加、部品の新規立ち上がりに加え、円安基調にある為替換算影響等により、売上高は29,058百万円(前年同四半期比18.9%増)となりました。収益面においては、アメリカ工場の生産性低下等の影響により、セグメント損失は1,320百万円(前年同四半期はセグメント利益245百万円)となりました。

なお、アメリカ工場において業績改善のために実施している生産性向上等の施策については、ほぼ計画通りに進捗しております。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、市場の需要変化を主要因とした販売減少の動きがみられ、当社でも一部でこの影響を受けたものの、新規部品の量産本格化や、円安基調にある為替換算影響等により、売上は増加しました。この結果、アジアでの売上高は19,878百万円(前年同四半期比23.4%増)となりました。収益面においては、主に増収による増益効果で中国合肥工場が黒字化したこと等により、セグメント利益は208百万円(前年同四半期はセグメント損失493百万円)となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、受注量が前年同四半期比でほぼ横ばいに推移したものの、販売価格が上昇したことにより売上高は3,742百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。収益面においては、使用原材料の高騰等の影響により、セグメント損失は27百万円(前年同四半期はセグメント利益3百万円)となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である通信会社のデータセンター向け物件や半導体関連企業のクリーンルーム物件の受注が減少したことにより、売上高は1,295百万円(前年同四半期比9.3%減)となりました。収益面においては、原価低減を進めたものの減収による影響等により、セグメント利益は17百万円(前年同四半期比56.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ5,841百万円増加して142,658百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加4,837百万円、保有株式の株価上昇による投資有価証券の増加1,074百万円、円安基調にある為替換算影響によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,946百万円増加して85,588百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少1,230百万円、借入金の増加3,170百万円、円安基調にある為替換算影響によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2,895百万円増加して57,070百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加2,544百万円、保有株式の株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加683百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末39.5%から39.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、平成26年10月29日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が72百万円増加し、利益剰余金が50百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,791	7,403
受取手形及び売掛金	25,924	24,534
商品及び製品	3,303	3,746
仕掛品	4,062	4,837
原材料及び貯蔵品	3,171	3,843
その他	3,666	4,412
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	48,920	48,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,710	15,443
機械装置及び運搬具(純額)	40,813	46,501
土地	5,252	5,283
建設仮勘定	9,862	7,598
その他(純額)	7,568	8,219
有形固定資産合計	78,208	83,045
無形固定資産	1,340	1,431
投資その他の資産		
投資有価証券	5,964	7,039
その他	2,383	2,367
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,347	9,406
固定資産合計	87,896	93,883
資産合計	136,816	142,658
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,140	15,683
電子記録債務	4,574	5,284
短期借入金	6,676	6,595
1年内返済予定の長期借入金	9,848	11,249
未払法人税等	1,526	296
賞与引当金	1,254	1,088
役員賞与引当金	28	-
製品保証引当金	180	157
その他	7,612	7,154
流動負債合計	46,841	47,508
固定負債		
長期借入金	26,490	28,340
退職給付に係る負債	4,913	5,066
その他	4,396	4,671
固定負債合計	35,800	38,079
負債合計	82,641	85,588

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	<u>31,651</u>	<u>31,224</u>
自己株式	<u>△304</u>	<u>△304</u>
株主資本合計	<u>48,467</u>	<u>48,039</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,540	3,223
為替換算調整勘定	<u>3,628</u>	<u>6,173</u>
退職給付に係る調整累計額	<u>△539</u>	<u>△477</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>5,629</u>	<u>8,919</u>
新株予約権	79	111
純資産合計	<u>54,175</u>	<u>57,070</u>
負債純資産合計	<u>136,816</u>	<u>142,658</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	91,348	100,448
売上原価	81,841	91,973
売上総利益	9,506	8,475
販売費及び一般管理費	7,138	7,641
営業利益	2,368	833
営業外収益		
受取利息	8	13
受取配当金	105	110
為替差益	402	51
スクラップ売却益	71	99
その他	106	139
営業外収益合計	695	414
営業外費用		
支払利息	775	902
その他	21	34
営業外費用合計	797	937
経常利益	2,266	311
特別利益		
固定資産売却益	2,287	7
投資有価証券売却益	838	-
補助金収入	20	69
特別利益合計	3,145	77
特別損失		
固定資産除売却損	91	88
投資有価証券売却損	9	-
特別損失合計	100	88
税金等調整前四半期純利益	5,311	300
法人税、住民税及び事業税	1,178	813
法人税等調整額	531	△446
法人税等合計	1,709	367
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	3,601	△66
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,601	△66

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	3,601	△66
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	576	683
為替換算調整勘定	3,848	2,544
退職給付に係る調整額	-	62
その他の包括利益合計	4,425	3,290
四半期包括利益	8,027	3,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,027	3,223
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	45,936	24,431	16,113	3,438	1,427	91,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,850	26	707	1,999	0	5,584
計	48,787	24,458	16,821	5,438	1,428	96,932
セグメント利益又は損失(△)	2,568	245	△493	3	39	2,363

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,363
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	2,368

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	46,473	29,058	19,878	3,742	1,295	100,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,105	12	698	2,388	0	6,205
計	49,578	29,071	20,577	6,131	1,295	106,653
セグメント利益又は損失(△)	2,041	△1,320	208	△27	17	919

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	919
セグメント間取引消去	△85
四半期連結損益計算書の営業利益	833

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。